

第5学年 算数科指導案

単元名 分数と小数、整数の関係
本時の学習 (7/7)

- (1) 本時のねらい 図を活用し、基にする量、比べられる量を正しくとらえて、分数倍を求めることができる。
(2) 評価規準 図を活用し、基にする量、比べられる量を正しくとらえて、分数倍を求めることができる。
【知識・技能】
(3) ダブルジャンプ問題と関連する時間 (3/7) ズバリ・・・数直線、もと (1) 1より大きい・小さい
(4) 展開

留意点・評価◎ 支援◇	学習活動（主な発問と予想される児童の反応）	過程
・お手本しずこさんと今日のズバリから、問題を解くための見通しをもたせる。  ◇倍の求め方の既習を振り返り、どのようにして求めればよいか、考えさせる。	1 ダブルジャンプ問題1を知り、お手本しずこさんとズバリを考え、課題をつかむ。 黄のリボンをもとにすると、青のリボンの長さは何倍ですか。 赤のリボンをもとにすると、黄のリボンの長さは何倍ですか。 ズバリ 数直線 もと (1) 1より大きい・小さい ・分数の倍で表すことができそうだな。 どのようにして何倍かを求めればよいか。 2 ダブルジャンプ問題1について自分の考えを正院ノート（ワークシート）に書く。	共有・表出 8分
・ガイドボードを用意し、間接指導の指示を示しておく。 ・話し合いが終わった時は、先にダブルジャンプ問題2を解かせておく。	3 正院ノートから、発表ボードに自分の考えをまとめる。 4 説明し合う。【みんなタイム】 黄をもとにすると青のリボンの長さは、 $11 \div 7 = 11/7$ で11/7倍になります。 赤をもとにすると黄のリボンの長さは、 $7 \div 15 = 7/15$ で7/15倍になります。 ズバリ説明 5 疑問を話し合ったり、よりよい発表ボードを選んだりする。 【はてなタイム】【ベストタイム】 ・数直線はどのようにかいたのですか？	つなぐ 10分 同時間接 3分
◎図を活用し、基にする量、比べられる量を正しくとらえて、分数倍を求めることができる。【知識・技能】（発言・ワークシート） ◇もとにする量、比べられる量は何かなどについて助言する。	6 ダブルジャンプ問題2に取り組む。どーなつボードで解法のポイントを確認する。 きんこんちゃんの飲んだ量は、坂東先生の量の何倍ですか。 坂東先生の飲んだ量は、校長先生の量の何倍ですか。 何をもとにして考えれば良いかな？答えは1より大きい・小さい？ ・数直線で表そう。 ・何をもとにすれば良いか考えよう。 ・坂東先生をもとにすると、きんこんちゃんの量は $5 \div 9 = 5/9$ で5/9倍 校長先生をもとにすると、坂東先生の量は $9 \div 7 = 9/7$ で9/7倍 7 学習のまとめをする。 何をもとにするか考え、割り算で求め、分数の倍で表すとよい。	活かす 10分 同時間接 2分
・ガイドボードを手掛かりに、ノートをまとめが終わった児童から適用問題に取り組ませる。 ・答え合わせが終わった児童から、あと片付けをする。	8 学びの姿5点と振り返りをする。 ・数直線をかいて求めると分かりやすい。 ・何倍かを求める問題を自分で作って解いてみたい。 9 適用問題に取り組む。 ・プリント	振り返る 12分

本時の学習と授業評価との関わり
A評価：ダブルジャンプ問題②において、5/9倍、9/7倍とどちらとも解答している。
B評価：ダブルジャンプ問題②において、5/9倍、9/7倍とどちらか1問解答している。
C評価：ダブルジャンプ問題②において、どちらも解答することができない。

第6学年 算数科指導案

単元名 およその面積
本時の学習 (6/6)

- (1) 本時のねらい 縮尺や台形の面積を求める方法を活用し、およその面積の求め方を考えることができる。
(2) 評価規準 縮尺や台形の面積を求める方法を活用し、およその面積の求め方を考えている。
【思考・判断・表現】
(3) ダブルジャンプ問題と関連する時間 (4/6) ズバリ・・・見立てる 縮尺 1km=1000m
(4) 展開

留意点・評価◎ 支援◇	学習活動（主な発問と予想される児童の反応）	過程
・ガイドボードを手掛かりに、適用問題に取り組ませる。 ・電卓を使用してもよいことを伝えておく。 ・全員が終わったらダブルジャンプ問題1を読んで待つように指示しておく。	1 適用問題をする。 ・ダブルジャンプ問題1を利用した石川県の面積を求める問題	振り返る 8分
・お手本しずこさんと今日のズバリから、問題を解くための見通しをもたせる。  ・既習として縮尺の利用を振り返る。 ・面積を求めるために測る必要がある場所を確認する。	2 ダブルジャンプ問題1を知り、お手本しずこさんとズバリを考え、課題をつかむ。 ステージのおよその面積を求めましょう。 ズバリ ・何の形に見立てれば良いかな。 見立てる 縮尺 1m=100cm どのようにおよその面積を求めればよいか。 3 ダブルジャンプ問題1について自分の考えを正院ノート（ワークシート）に書く。	つなぐ 10分 同時間接 3分
・ガイドボードを用意し、間接指導の指示を示しておく。 ・話し合いが終わった時は、先にダブルジャンプ問題2を解かせておく。	4 正院ノートから、発表ボードに自分の考えをまとめる。 5 説明し合う。【みんなタイム】 台形に見立てます。縮尺は250分の1を利用して実際の長さを求めます。上底は4cmなので $4 \times 250 = 1000$ となり10m、下底は6cmなので $6 \times 250 = 1500$ となり15m、高さは3.5cmなので $3.5 \times 250 = 875$ となり8.75mとなります。台形の面積を求める公式で計算すると $(10 + 15) \times 8.75 \div 2 = 109.375$ ステージの面積は約109.375㎡となります。 6 疑問点を話し合ったり、よりよい発表ボードを選んだりする。 【はてなタイム】【ベストタイム】 ・単位の変換はどのようにしたのですか？	活かす 10分 同時間接 2分
◎縮尺や台形の面積を求める方法を活用し、およその面積の求め方を考えている。【思考・判断・表現】（発言・ワークシート） ◇どのような形がいくつかあるか助言する。	7 どーなつボードで解法のポイントを確認、ダブルジャンプ問題2に取り組む。 客席のおよその面積を求めましょう。 面積を出すためにどこの長さを使う？どんな形がいくつある？ ・台形が二つあると考える。 8 学習のまとめをする。 縮尺を利用し、実際の長さを使っておよその面積を求めることができる。 9 学びの姿5点と振り返りをする。 ・形を見立てて縮尺を利用すると、広い場所のおよその面積が求められる。 ・身近な場所のおよその面積を求めてみたい。	活かす 12分

本時の学習と授業評価との関わり
A評価：ダブルジャンプ問題②において、二つの台形の面積の和（約371、875㎡）を導き出すことができる。
B評価：ダブルジャンプ問題②において、二つの台形の面積の和を求めようとしている。
C評価：ダブルジャンプ問題②において、二つの台形の面積の和を求めようとしていない。